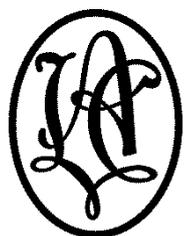
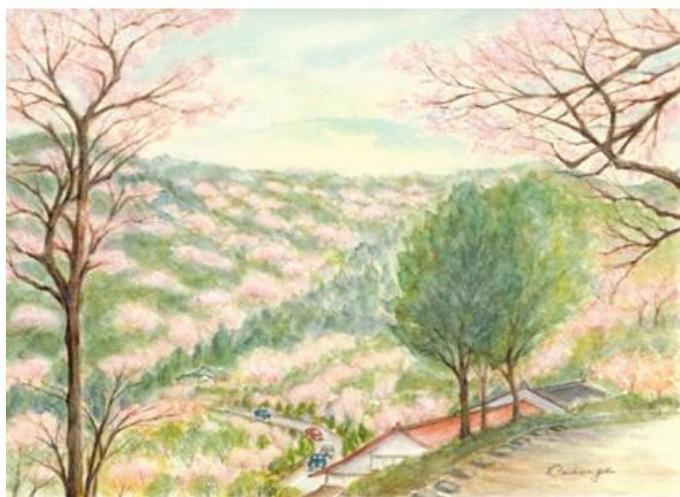


2025 第 69 号

千葉支部だより



J・A・C



令和 7 年 4 月発行

発行元 (公社) 日本山岳会千葉支部

〒290-0011

市原市能満 1261-5

三田方

発行者 三田 博

編集者 小川 和敏

E-Mail cib@jac.or.jp

(表紙の絵)

奈良吉野山桜 (中千本)

水彩画 小菅 一弘

[ 目次 ]

・愛鷹山 (富士山の絶景を求めて)	齊藤 和紀	p 2
・キノコ山行 (山の恵みのおすそ分け)	三品 京子	p 2
・小春日和の御殿山と大日山	今井 貴朗	p 3
・郡界尾根から小鋸・鋸山	三田 博	p 3
・ユースクラブが活動開始	三田 博	p 4~5
・登山道整備を続けています	松田 宏也	p 6
・払沢の滝 浅間嶺	山中 孝郎	p 7
・高くて低い? 愛宕山	三田 芳江	p 7
・日蓮アルプス	羽藤 美代子	p 8
・冬の富士山に会いに岩殿山へ	三品 京子	p 8
・こんにちは	山中 孝郎	p 9
・奥日光・庵滝ヘスノーハイク	三品 京子	p 9
・あの日の山—北への憧れ	上村 紀子	p 10
・晴香園との合同山行—鋸山	高橋 琢子	p 11
・鍋割山で鍋焼きうどんを食す	成田 知彦	p 11~12
・ウオーキングクラブ報告	宇津木 仁典	p 12~13
・支部山行予定		p 14~15
・お知らせ	《事務局から》	p 16

**50歳未満は、千葉支部への入会金と年会費2年間分を免除します!**

千葉支部への入会には経験・年齢の制限は設けていません。身近な人で登山経験者や登山を始めてみたい方がいましたらご紹介ください。入会希望者向けの「ガイドンス山行」に参加できます。日本山岳会への入会もご相談に乗ります。特に若い方が入会しやすいように、50歳未満の新入会員は入会金1,000円と2年間の年会費(正会員1,500円又は会友3,000円)を免除します。

愛鷹山（富士山の絶景を求めて）

齊藤 和紀



山行日/天候：11月17日～18日（曇り小雨）

参加者：CL 小川和敏、SL 三品京子、平出正美  
三田芳江、記録 齊藤和紀（5名）

タイム：愛鷹山登山口 8:30→第一展望台 8:45→馬の背見晴台 9:20  
→平坦地 10:00→越前岳 11:00→越前岳下山開始 11:15→登山口 13:25

初日は沼津市に土地勘のある Y さんお勧めのスポット、柿田川湧水、三嶋大社、楽寿園を訪れ沼津観光を堪能。当日は夏日気温は24.5度、柿田川湧水では木漏れ日を浴び散策、三嶋大社では七五三の行事を見学、楽寿園では菊祭りを楽しみ、明日の登山までこの快晴が続くことを願いつつ観光を終了した。



登山当日は小雨模様の曇り、愛鷹山と言えど富士山の絶景スポット、期待していた富士山は厚い雲の中。そんな状況にもめげず紅葉の景色を期待して登山開始、直ぐにその期待も裏切られる風景に直面する。紅葉しきれず

枯れて散った落葉の山道をひたすら頂上めざし歩く。途中赤色、黄色に紅葉している木を見つけては足を止



め、写真を撮影し、足元のあざやかな緑色の苔や万両の花にも足を止め、遠目の効かない天気を恨みつつ、それでも何とか登山をする楽しみを見つけようと声を掛け合いながら歩を進める。

この季節では考えられないような気温、湿度、標高を上げるに従い重ね着を脱

ぎ、山頂につく頃には皆重ね着なしの状態、さすがに頂上での昼食タイムでは重ね着を復活。越前岳頂上の一等三角点は掘り起こされ横たわっており後日復旧する予定とのこと、清水市の小学生の記念植樹もあり地元で愛されている山であることを確認することが出来た。昼食後下山開始。ただし、山道は滑りやすく緊張の連続で歩を進め、枯葉ロードを堪能しつつ出発点へと戻った。

キノコ山行（山の恵みのおすそわけ）

三品 京子



山行日/天候：11月21日（月）（晴れ）

参加者：L 平野直子、三田博、宮崎美智代、杉原順子、三品京子  
タイム：南会津を散策

雨降る千葉を早朝出発、南会津につくころには雨もやみ最初のポイントに到着。

背丈を越える藪の中に立ち枯れた木を指差しムキダケが沢山付きますよとリーダーの声で皆一斉に藪に突入、すると根元にはナメコも生えていて取り方・キノコの種類のレクチャー後、それぞれキノコ探しを開始まあまあの収穫があり次の場所へ移動。



道から数歩の場所にナメコが生えていて先ほどより凄いと皆さんキノコ狩りモードになり進んで行くとナメコタワーが出

現、木の幹全体に付いている姿は圧巻、ナメコを採っても次のところでもタワーの出現に終わりが無い状況にどんどん奥へ、そろそろ戻りましょうと車へ戻る途中にもキノコを見つけてしまい終わりが無いですねとキノコでいっぱいになった袋に大満足の山行となりました。山は登るだけではないですね、春は山菜、秋はキノコの恵みに感謝です。



小春日和の御殿山・大日山

今井 貴朗



山行日/天候：12月1日（日）（晴れ）

参加者：L 今井貴朗、國宗文、末吉千穂美（3名）

タイム：高照寺駐車場(8:45)→御殿山山頂(9:40)→鷹取山山頂(10:07)

→大日山山頂(11:00/11:30)→鷹取山(12:10)→高照寺駐車場(13:15)

晩秋の香も残る初冬の青空の下、気持ち良い引き締まった空気を感じながらなだらかな道を登り始める。大黒様の前で先行登山者に追いつき、遠く富士の遠景を眺める、今日は良い日になりそうな予感。大黒様を過ぎると本格的な登山道になるが、道は良く整備されていてハイキング気分で歩くのが楽しい。頂上直下の急坂を上り詰めると絶景が広がる。伊予が岳と富山の

間に富士山がぼっかりと浮かぶ、この景色を見られただけで今日の登山は大満足。更にアップダウンの続く鷹取山を越えて大日山まで歩いた。大日様は崩落していたが、何となく厳かな雰囲気を感じつつのんびりとランチタイム。帰りは来た道をゆっくりと戻り、素晴らしい景色と歩くのが楽しい一日であった。



郡界尾根から小鋸、鋸山

三田 博



山行日/天候：1月4日（土）（晴れ）

参加者：L 三田博、三品京子、末吉千穂美、山中孝郎（4名）

タイム：小保田BS10：10→11：00 郡界尾根→11：45 白狐峠→13：40 鋸山→15：00 浜金谷駅

正月気分も抜けないままの房総の山歩き。今回は郡界尾根でもハードなセクションであるスイセンピークから鋸山の縦走。内房線保田駅に集合して、コミュニティバスの青バスに乗車、300円也を払って小保田BSで下車する。咲き始めたスイセンを見ながら下貫沢を登る。落ち葉で登山道がはっきりしないが、適当に木の根を掴んで郡界尾根を目指す。尾根に出たら、淡々と赤テープを目印に歩く。狭い岩尾根にアップダウンが続く登山道だが、倒木は処理されている。歩き始めて1時間半で白狐峠の草原に到着、昼飯にした。

休憩後は小鋸山の急斜面をトラロープ頼りに登る。そこからは岩を掴みながら馬の背をクリア。林道開通碑のある鋸山の東側登山口に出る。意外にアップダウンが続く登山道を歩き、ようやく鋸山山頂に到着した。ここからは登山

者が急に増え、子供連れの家族などもすれ違う。金谷の港を見下ろす鋸山展望台は人がいっぱい。観月台コースを下山して浜金谷の駅に着いた。新年早々少しきつい山歩きだったかな。





●● ユースクラブが活動開始 ●●

● 「ユース千葉」活動しています 三田 博

支部日より 67 号でお知らせしたように、昨年より千葉支部内でユースクラブをつくり活動をしています。「雪山・岩登り・沢登り・バリエーション」を通じて登山の総合力を身に付け、真の自立した登山者を目指しています。いわゆる危険を伴う登山形態ばかりですが、その分どれも達成感が大きく感じられます。それぞれ専用の道具が必要な事もあり、それなりにお金がかかりますが…。

どんなことをしているか知りたい人もいますのでざっと説明します。ユース千葉と



いうグループラインを作っています。ラインで山行の募集をしたり、こういうところに行きたいとリクエストがあつたりします。具体的には、クライミングジムでのクライミング・ボルダリング。雪山テント泊、沢登り、少し変わった藪岩登りなど。普通の登山者から見たら“物好き”というようなことをしています。今後は合宿もしようと思っています。年齢制限は設けていませんが、あえて体力を考えると活動できるのは60代まででしょうか。「やってみたい」という好奇心があれば初心者でも大歓迎です。ただし「自己責任」で参加してください。

● 金ヶ窪でアイスクライミング講習 灘 信宏

山行日/天候：1月18日（土）晴れ

参加者：L平野直子、三品京子、横江紗也香、灘信宏（4名）

タイム：西川新倉林道脇駐車場 8:30→金ヶ窪登山口→クライミングゲレンデ（金ヶ窪沢）  
9:00～16:30→金ヶ窪登山口→西川新倉林道脇駐車場 17:00



初めてアイスクライミングに参加してきました。三つ峠の金ヶ窪沢が今回行った場所です。アイスクライミングは写真で何となく見たことはありましたが、自分にはできるはずがなく、全く関係のない世界の話だと思っていました。しかも、冬靴もアイゼンも初めてというとてもない初心者です。「やったことがないのですが、参加できますか？」の問いかけに「大丈夫です！」と温かく迎え入れてもらったもののビビリながら参加しました。さらに平野さんの「メチャメチャ暖かい格好をしてください。」の一言で寒さへの恐怖もマックスになり持てるだけの服を持って行きました。

現地では平野さんが、アックス、アイゼンの使い方や氷壁の登り方の基礎講習の後、小滝から大滝へと段



階的に初心者でもなんとか登れるコースを設定してくれたおかげで、皆、初めてでしたが、お借りしたペツルのアックス（ノミック、クォーク）とアイスクライミング用の縦爪アイゼンを使って、氷壁を登っていくことができました。

全く出来ないと思っていましたが、なんとか登ることができて、達成感もあり、とても楽しい体験になりました。参加して本当に良かったです。また、氷壁が近く日当たりもないので、下で待っているとメチャメチャ寒かったです。着込んでいって正解でした。

忘れられない素敵な思い出になりました。



● スノーモンスターに囲まれて 初めての雪山テント泊 横江紗也香

山行日/天候：1月12日（日）～13日（月）晴れ・曇り

参加者：L三田博、SL平野直子、横江紗也香（3名）

タイム/ 1日目 5:45 西船橋駅→10:30 四阿山登山口→14:10 テント適地着

2日目 5:00 起床→6:50 山頂へ登山開始→7:10 四阿山頂→7:45 テント撤収→8:05 下山開始  
→9:55 四阿山登山口



## 日本山岳会千葉支部

支部の小栗山さんの雪山テント泊のレポートを読んで私もやってみたいなあと思い、ちょうど皆の予定が2日連続空くのはチャンスかも！と、リクエストをしました。当初、根子岳・四阿山の周回コースを予定



していましたが、間がピッケルやアイゼンを使う可能性ありとのことで、装備や私のスキルを考慮して、四阿山ピストンとなりました。すれ違う登山者の足元はチェーンスパ

イク、アイゼン、スノーシュー、ソリ、スキー板、とさまざま、皆も出発前に装備をどうするか迷ったのだろうなど、予測に加えて行ってみないとわからない雪山の難しさを感じました。道中、テント泊ですか？どこで幕営するんですか？と声をかけられ、冒険しているようで少し誇らしかったです。

牧場から北アルプスの山々が鋭く美しく見渡せて、本当に良い眺めでした。初めてのスノーシューだったので、わざと新雪をずぶずぶ歩くのが楽しくて、私は子供のようにしゃいでいました。事前に地図で目星をつけていた標高 2300m 付近のテント適地に到着。し

かし平らで、風除けになる木があり、登山道から少し離れていて、2m×2m のテントを張れる場所をピンポイントで見つけるのは難しい。何ヶ所か検討してスノーモンスターたちに風から守ってもらえる絶好の場所を見つけ、ふわふわの雪を踏み固めて整地し、テントを張ってトイレも作って私たちの棲家が完成。テント内では、暖をとりつつ、温かい食事とお酒を囲み団欒。しかしやることもそんなになので、20時に就寝し、さらさら雪の降る音を聴きながら眠りました。

翌朝は5時起床し、暖かい食事をとってご来光を見るべく山頂へ。下の方からうっすらピンク色に色づいてくるのがわかりました。下山はあっという間でした。硫黄とマンガンの秘湯で体を温めて、お蕎麦を食べ、道の駅で買い物をして帰路につきました。初めての雪山テント泊。心強いリーダー・サブリーダーの支えで楽しい思い出になりました。



## ●● 市川市の公民館で読図講習 ●●

市川市曾谷公民館からの依頼で1月18日(土)、登山の読図とコンパスの使い方の講習会をおこないました。講師は私(三田)と山口文嗣さんです。市の広報誌で受講生を募集、23名の方が受講しました。講習は、支部の登山教室でも行っているように山岳遭難でも道迷いが一番多い事故原因であることなど説明し、具体的な読図方法を講習しました。また教室内ですが、コンパスを使ったナビゲーション方法を実際におこないました。2時間の講習という限られた時間では、現在主流になっているスマホ地図アプリの使い方などは十分できませんでしたが、登山コンパスの使い方を重点的に教えました。参加された方が、これからスマホだけに頼ることなく地形図とコンパスも使って安全に登山されることを期待したいです。



●● 登山道整備を続けています ●●

●11月16日(土) 鎌倉古道～房州アルプス 曇り ; 斎藤米造、成田知彦、山崎完治、松田宏也 (4名)

今シーズン初めての登山道整備は今年2月に開催された全日本登山大会の登山ルートからだ。

鎌倉古道は梨沢の成年部の方々が整備を続けているので格段に歩きやすくなっていました。時折、ステップを刻みながら鎌倉古道を通過、車道に出た後、内台の民家横から無実山に向かった。内台からすぐ杉の大木の処理があったが、今回の持参品はノコと電動ノコなので、次



回に作業を回し先を急ぐ。しばらく行くと倒木の枝がからみ通行をじゃまする斜面にぶつかった。ノコを駆使しなんとか通れるようにはしたが、ここはもう少し時間をかけ整備しなければならぬだろう。幸いに天気は曇りのままで雨には降られなかったがとにかく暑い。本当に11月なの？汗をたっぷりとかかされた1日となった。終了後はもちろん、房総 Base で冷えた Beer と熱い鍋を楽しんだ。



BEFORE

AFTER

●11月17日(日) 大日山遊歩道 (増間ダム～関東ふれあいの道) 晴れ ; 斎藤米造、成田知彦、松田宏也 (3名)

昨夜は雨が降ったらしいが、今朝気持ちよく晴れている。増間ダムの林道から歩き始める。道を塞ぐ雑草や枝を除去しながら坊滝へ。坊滝の看板の前は倒木で覆われていた。電動ノコが大活躍し人が通れ



BEFORE 坊滝付近



AFTER 坊滝付近

る道をなんとか確保した。大日山への分岐からふれあいの道に入ると、昨年の整備の時はこの道の倒木作業が大変だったことを思いだしなから駐車場へ。皆さんお疲れさまでした。(松)

●12月21日(土) 房州アルプス 晴れ ; 東蒼生、山中孝郎、山崎完治、松田宏也、会員外(6名一会員外2名)

房州アルプスの内台側から民家の横を200m程抜けたところの倒木処理をおこなった。

前回の調査では、チェーンソーを持ってなかったので、簡易的に手ノコを使い通れるようにはしたものの、明日の房総半島横断レース72kmのコースにもなっていることもあり、本格的に手をいれることになった。



BEFORE

その後は、落ち葉が埋まっているルートを熊手で清掃。すっかり見違えるようにキレイになった。

今回の参加は千葉支部4名にCMSCA加盟のK登高会から2名。今日の仕事が終われば後は喉を潤し腹を満たすのみ。Baseに戻り、日の落ちる前から、Sさん持参のおでんをつまみに「ご苦労さん会」が始まった。



AFTER

●1月28日(火) 伊予ヶ岳登山道整備 晴れ ; 三田博、東蒼生、松田宏也 (3名)

房総の山復興プロジェクトの登山道整備活動で久しぶりに房総のマッターホルンこと伊予ヶ岳へ。

ヤマケイの百低山に選ばれたからか、平日なのに埼玉、茨城から20人ほどの登山客がくる人気の山となった。

ナタと熊手をもって神社からの一般ルートをとる。鎖場までは

熊手で清掃。鎖は新しくなっていた。



北峰から迂回路で東屋に下山、道はきれいに草刈りされていたが、急な下り100mほどは注意が必要。

ロープは張られているが砂道で滑りやすい。ここはステップ切りをした方が良さそう。次回の宿題として持ち帰り。清掃おつかれさまでした。



(松田 宏也)



弘沢の滝、浅間嶺

山中 孝郎



山行日/天候：1月11日（土）晴れ

参加者：L小川和敏、中田彩、山中孝郎、末吉千穂美（4名）

タイム：9：00 弘沢の滝入口バス停→9：15 弘沢の滝→9：35 弘沢の滝駐車場→10：05 時坂峠→11：40 展望ポイント  
→12：30 浅間嶺→12：50 人里峠→13：45 人里バス停

バスから降りて、まずは日本百名瀑にも選ばれている弘沢の滝へ向かいました。滝までの道はウッドチップが敷かれています。心地よく歩けました。この日も冷え込んでいて滝の飛沫が凍っていました。全部凍ることもあるようです。

登山口へ向かう途中、中田さんはお豆腐屋さんでお豆腐、油揚げをちゃっかり購入。朝の早いお豆腐さんならではのです。

アスファルトの道を何度か通り落ち葉と霜柱の道を踏みしめて歩きます。寒かったけれど風が無かったので快適でした。

その後開けた場所からは奥多摩の御前山や大岳山などを一望出来ました。



浅間嶺展望台からは、真っ白に雪化粧をした富士山の頭が覗いていました。雲も無く綺麗。

広場で昼食、小川さんから熱々のコンソメスープのサービスがあり心も体も温まりました。

下山は人里バス停へ。

バスの時間まで、バス停近くの茶房にてケーキセットをいただきました。店主の方と人里（へんぼり）の名前の由来などを聞いたり話に花が咲きました。

寒い季節に心温まる山行となりました。



高くて低い？ 千葉県最高峰愛宕山

三田 芳江



山行日/天候：1月17日（金）晴れ

参加者：L三田芳江、三田博、三品京子、末吉千穂美、宮崎美智代、齋藤米造、小川和敏、今井貴朗、橋場みき子、小池澄子、谷田貝栄(11名一内3名会員外)

愛宕山(408m)は航空自衛隊峯岡山分屯基地内にある千葉県最高峰。事前の見学申請、当日の身分証明書の提示が必要な気軽には登れない山。12時に入門、係の方から注意事項を聞く。写真撮影は許可された所のみOK。愛宕山の山門に向かう階段を登り、登山道へ入る所で泥濘が酷いので今回は車道歩きとの事…程なく三角点のある小高い丘に到着。なんだか呆気ない登頂。各々、登頂者番号が入った登頂記念カードを頂いた。集合写真を撮影して、鹿野山や富士山が望める展望の良い場所に案内されて写真撮影。施設内の売店へ皆さん興味津々で移動。ここでしか買えないTシャツやバッジ、寿萬亀酒造とコラボしたお酒等を購入して盛り上がりました。13時に見学終了後は、日本酪農発祥の地「千葉県酪農のさと」へ。資料館で酪農の歴史等の展示を見学。暖かい休憩所でソフト



クリーム等を食べて一休みして「大山千枚田」へ。「日本の棚田百選」や「つなぐ棚田遺産」に認定されている、冬枯れの美しい棚田の風景を見て散策。「ご自由にどうぞ」の柑橘類をお土産に帰路へ。賑やか

かで楽しいメンバーとの山行&観光でした。

※愛宕山は全都道府県最高峰の中で最も低い山。そして、千葉県の平均標高も全国で一番低いそうです。千葉は低さ全国一の2冠達成だと参加者から教えて頂きました。



日連アルプス

羽藤 美代子



山行日/天候：1月19日（日）（晴れのち曇り）

参加者：L 今井貴朗、香高真奈美、末吉千穂美、国宗文、成田知彦、羽藤美代子（6名）

タイム：藤野駅 9：45→金剛山登山口 10：05→金剛山 10：40

→峰山 11：03→八坂山 11：10→鉢岡山 11：57/12：30

→日連山 13：05→宝山 13：20→日連神社 13：55→藤野駅 14：30

相模川を渡った日連集落の400m前後の山陵が日連アルプス。

藤野駅から相模川にかかる日連大橋を渡ると日連集落。赤い鳥居のある金剛山登山口迄 20 分程で着く。ゆるやかな登りから九十九折の急登が結構きつく、冬でもこんな汗が出るのと思うくらい汗が流れる。それでも、風もなく冬枯れの木立の間からの陽ざしが心地いい。重い身体で息を切らして登りきると金剛山山頂。集落の守り神の小さな金剛山神社がある。残念ながら富士山は雲で見えなかった。さあ、ここ



からはしばらく気持ちの良い稜線歩き。

まもなく峰山、景色が一気に広がり里山と集落の風景が素晴らしい。そして八坂山。

昔烽火台があったという鉢岡山でお昼。そして日連山、宝山と、ここからの下りはロープをつかみながら慎重に降りる。日連神社に下山した

時には無事に歩けたこと感謝した。



冬の富士山に会いに岩殿山へ

三品 京子



山行日/天候：1月26日（日）晴れ

参加者：L 小栗山大介、小川和敏、中田彩、末吉千穂美、三品京子（5名）

タイム：大月駅 9:05→千倉登山口 9:35→岩殿山山頂 10:15→天神山 11:40→稚児落とし 12:30→浅利登山口 13:15

→大月駅 13:35



外房に住んでいると、とにかく登山口までが遠い。5時にスタートし待ち合わせの大月駅まで4時間。

リーダーデビューの小栗山さんと参加者に合流し大月駅から畑倉登山口まで30分で到着し準備を済ませ登山開始。

足元は凍結箇所・ザレ場など注意するよう先頭のリーダーから声掛けなどありながら1時間ほどで山頂に到着する。

真正面に雪を被った富士山が正面にドーンと現れ、青空を背景に山梨側からの姿も魅力的です。

それぞれに記念撮影を済ませ次の目的「稚児落とし」へと向かう。

何やら不気味な名前。登山道は玉砂利が撒いたようにあり足元を注意しながら鉄塔下の天神山に到着する。



ここで昼食を済ませ後半は鎖場にトラロープとアクティブコースを通り過ぎ稚児落としに到着した。

そこは断崖絶壁、何十メートルいやいやもって切れ落ちている。



名前の由来の看板はないが暗いイメージの名称をのぞき見するも長居は無用、下山口まで一気に下り浅利登山口に下山した。

駅まで少しばかり歩き、これだと思う店でリーダーお疲れ様でしたと祝杯を挙げた。

♪ こんにちは ♪

山中 孝郎



昨年の春に日本山岳会千葉支部に入会させていただきました山中孝郎（やまなかたかお）です。今年巳年の年男です。



山に対しては中学生時代（ボーイスカウト）から多少興味を持ち始めて60年近く→だらだらと山に登っています。何よりも高校の山岳部時代は加藤文太郎に憧れて山のめり込み冬山や岩登りに没頭しました。しかしながら大学時代はスキー部に所属してしまい山から離れてしまいましたが、仕事関連で昭和56年に松本に転勤になり周囲が山ばかりだったので再度山に行き始めました。

過去は横浜や新潟の社会人山岳会にも所属していましたが、定年になり今住んでいる千葉県地元の山岳会で山に登りたく入会させて頂きました。

近年は山登りもですが、山スキー/テレマークスキーに注力しています。

また山に行く為の体力づくりとして、日々スポーツクラブ等で太極拳（バランス感覚をつける為）、エアロビクス（有酸素とボケ防止）、プールで頑張っています。

死ぬまでの山絡み？でやりたいことは

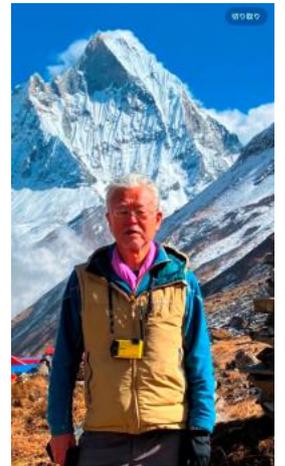
- ① 筑波山に今年から100回登る。筑波山大御堂の御朱印を100いただく。（トレーニング兼ねて）

- ② 四国 88 か所を自宅から自転車で観光を絡めて2～3か月で霊場参り。（以前に歩き遍路をしましたので四国の良さを再確認したいと思います）
- ③ 大峰奥駈道/熊野古道
- ④ ネパール/カラパタール→ゴーキョ/ランタン谷、ルンビニ
- ⑤ 西表島等島の山（安間先生のお話をお聞きして元気なうちに行きたい場所になりました。）

今後とも宜しくお願い致します。



浅間嶺



アンナプルナ内院

奥日光スノーハイク 冬限定、氷瀑の滝に会いに

三品 京子



山行日/天候：2月1日(土)晴れ～2日(日)雪

参加者：L 三田博、三田芳江、横江紗也香、山中孝郎、三品京子（5名）

タイム：赤沼駐車場 10:35→弓張峠 11:40→滝 12:40→弓張峠 14:10→赤沼駐車場 15:15

日光駅で電車チームと合流し奥日光へ向かう。いろは坂は雪が少なくすんなり赤沼駐車場へ到着。計画では、初日は霧降高原から赤薙山でしたが、翌日は天気が悪くなると三田リーダーが判断し滝に変更する。

雪対策の身支度を済ませバス停から自然歩道へ入る。もうしっかり踏み固められつぽ足で歩いて行ける。小一時間ほどで弓張峠に到着。小休憩をとり各々チェーンスパイク・スノーシューを履き青空に風もなく気持ちのいい中、白い谷沿いを進んで行



き滝に到着した。今年の氷瀑も見応え十分。裏見の滝からは青く綺麗な氷柱が見られた。多くの登山者がおり早々に戻ることに少し戻った雪原に雪のテーブルとイスを発見。丁度よい場所なので昼食とさせてもらい弓張峠から駐車場と引き返し今夜の宿へと向かった。

夕食はコース料理に舌鼓。雪と氷と食事そしてお酒に大満足の日でした。翌朝は予報通り雪。霧降高原に向かうも帰りの事を考え日光市内へと戻り「憾満ヶ沢」のお地藏さん群を見学し解散となった。



## あ の 日 の 山

### — 北への憧れ —

上村 紀子



1994年7月23日；東京駅に着くと汗ビッシヨリ。20kgの荷が重い。憧れを載せたバス(ラフォーレ)が北へ走ります。9時間かけて青森駅に到着する。北海道の周遊券も手に入りました。石勝線での清水駅に始まり、沢山の乗り物を乗り継ぎやっとたどり着いたのは1泊目の夕張ヒュッテ。「北海道はデッカイドウ」

25日；朝5時、お花を期待しつつ望岳台をスタートし、ユウバリコザクラ、アケボノソウ等などが応えてくれる。夕張岳山頂に13時。一等三角点に喜悦となる。前岳湿原の一隅に設営し、お花に囲まれて眠りにつきました。



26日；列車移動で滝川へ。そこからタクシーで雨竜町の町営南暑寒別荘へ行き宿泊。

27日；5時前に出発し、小一時間で広々とした湿原に着き、アヤメの群落に迎えらる。雨竜沼湿原を過ぎ、南暑寒別岳への登りに取り付く。とても暑く汗が目に入る。9時に南暑寒別岳頂上に立つ。そこから雪渓を経て登り3時間で暑寒別岳山頂へ。一等三角点からの展望は霧の中でちょっと残念。雨竜の山荘から全長26km、標高差1600mであった。「闘い終えて日が暮れて」重い足を引きずりながら山荘に着く。



28、29日；移動と観光

7月30日；朝一番の列車で斜里に向かい、バスで硫黄岳登山口へ。14時、標高250mなれど暑さにゲンナリとなる。広葉樹林の中を登り硫黄沢でテント泊。水も豊富、焚き火に火が付けば、ウイスキーもあり歌も飛び出すといった贅沢な夕食となった。

31日；雪渓を渡り岩場を越せば硫黄岳の一等三角点。東の裾にオホーツク海、知床五湖、ウトロ港までも見える。縦走路に入り、上り下りをこなした後、知床別岳に登りそこから崩れた岩峰群の山肌となる。



更に稜線を追って南岳で展望を楽しむことに。ハイマツに苦しめられてようやくの二ツ池畔が今日のサイト。湿原にはエゾコザクラの群落、遠くのテントからは宴会の歌声が聞こえてくる。

8月1日；朝5時二ツ池からオッカバケ岳に登り朝露に濡れた山頂へ。次は、霧が切れた中ハイマツの踏み跡を辿り、ツクモグサ、コマクサ咲くサルシイ岳へ登る。そして更に進み、特異な姿を現した最高点三ツ峰に至る。

いよいよ縦走も終盤となり、羅臼平から今日のハイライトへ。この旅の最後のピーク羅臼岳である。流石に百名山、ピストンする姿も多く見られる。羅臼岳は徐々に斜度が強くなる登りで、最後に巨岩の累々と重なる羅臼岳山頂に到達となった。

長い稜線、知床のバックボーンを踏破した後にここに立ち大満足となる。手抜きせずピークに挨拶を交わしてきたことを思うと少し感傷的な気分になりました。

記念撮影を済ませ下山です。疲れた足を引きずり下界を目指す。雪渓尻でのソーメン、壺水で締まった麺はたまらなく美味。岩尾別温泉へと急ぎ、汗に汚れたシャツを脱ぎ捨て温泉へ飛び込んだ後のビール的美味さは、これこそ「勝利の美酒」でした。

追記；一等三角点3座、百名山1座、二百名山2座の12日間10座の山旅概算費用；115,000円(安い！)



●● 晴香園との合同山行—鋸山 ●●

山行日/天候：2月8日(土)晴れ

参加者：晴香園(小学生2人、中学生一人、職員2人)、L三木雄三、香高真奈美、今井貴朗、國宗文、能美勝博、山中孝朗、高橋琢子(12名)

大寒波の真っ只中、9:30 浜金谷駅をスタート。歩き出して早々、人気の肉屋さんでコロッケに舌鼓。子どもたちはなんと三木さんのおごり！早起きした子どもたちはコロッケに力を得て、車力道をグングン進む。

「鋸山から切り出した石を荷車に載せて、下に降ろした跡が石に残っているから、良くみるんだよ」と三木さん。「あった！これもかなあ。すごいねー」とRちゃん。Kちゃんは「ミッキー、お弁当まだあ？」「まだだよ」。そんな会話を何度か交わし、絶壁階段を「こんなにきつかったかしら？」と思いながら、ようやく展望台に到着。北の方にはスカイツリー、南には伊豆大島や利島まで見渡せ、真正面には富士山という贅沢な景色の中で昼食となった。下山は岩の回廊、岩舞台などを通り、観月台コ

ースへ。400段の階段を無事降り切り、浜金谷駅に向かった。子どもたちの「きれいな景色で食べたお弁当おいしかったね」「コロッケも！」にほっこり。今日は良い夢が見られるね。(高橋 琢子)



※ お知らせ

晴香園ハイキング；5月以降、数回予定しています。問い合わせは香高まで。

鍋割山で鍋焼きうどんを食す 成田 知彦



山行日/天候 2月15日 晴れのち曇り

参加者：L成田知彦、今井貴朗、三品京子、末吉千穂美(4名)

タイム：大倉登山口駐車場7:20→二俣9:30→後沢乗越10:00→鍋割山11:00→後沢乗越12:20→二俣12:50  
→大倉登山口駐車場14:00

鍋割山の麓「大倉登山口」に7時過ぎに到着、標高1,272mの山頂「鍋割山荘」を目指す。目的は鍋焼きうどんだ。売り切れ有るかも・・・との事前情報で早めの到着を計画。初リーダーのプレッシャーからか周りのハイカーに引っ張られてか、STARTから痛いミスをおかす事になる。歩いて15分位して一緒に行ったメンバーから「道間違っていない？」との指摘。地図アプリを見ると行きつく先は、塔ノ岳ではないか！！途中分岐は無く、山頂からの横移動のみ。結構な時間ロスにつながる為、登った道を分岐点まで戻り改めてSTARTした為、およそ

30分のロスが発生。自身の心中としては「ヤバイ」鍋焼きが食べられないかとも思いましたが、周りのメンバーの温かいお言葉に助けられ落ち込む事無く山行を続ける事が出来ました。

再度、気を引き締めて登山開始と思ったら二俣あたり(1時間半位)までは、林道が続き終点に着くと、水の入ったペットボトル(歩荷ボランティア)が置いてあり鍋割山荘へ持って行くという。リーダーは遠慮気味に一本ザックに仕舞いました。

( 鍋割山 )

いよいよ傾斜が急になっていくような感じ、後沢乗越までは順調に進みましたが、周りから「ペース早くない？」



とのお言葉。だって後ろから足音が常に聞こえると・・・せかさされているような気がして、ついついペースが速くなってしまいます。

ここから山頂まで道は更に急な登り、息を切らし汗

をかきながらおよそ1時間で山頂へ到着、時計を見たら11時で予定より1時間も早く到着！？なんかおかしくない？と思いつつ、座る場所を確保し、鍋焼きうどんを注文。熱々のまま提供され、具がたっぷり入った食べ応え抜群の一品でした。寒い冬には本当に沁みました。山頂付近は、



割と寒くガスも出始めたので、45分後に下山開始途中はほぼ休憩もなく車道沿いの下山へ。予定より1時間早い14時に到着でした。

冬の低山、天気も良く楽しい冬の低山山行となりました。リーダー経験不足によるルート間違いと早いペース！？にもついて来てくれるメンバー、何より走力、体力、人間力のあるメンバーで楽しい時間を共有出来ました。



ウォーキングクラブ報告

宇津木 仁典

● 松戸地区紅葉スポット&県境を越え歴史と自然を巡るウォーキング 黒住清美

実施日/天候：11月30日(晴れ)

参加者：L 宇津木仁典・平出正美・坂上光恵・塩塚生二・竹園清孝・丸知子・今井恵子・小林ユキ子・斉藤和紀・長谷川博・清宮政宏・國宗文・新井好夫・羽藤美代子・黒住清美・ご友人2名(17名)

コース＝北小金駅→本土寺→東漸寺→電車移動で松戸駅(昼食)→戸定が丘歴史公園→松戸神社→江戸川河川敷→葛西神社→金町浄水場取水塔→矢切の渡し→柴又帝釈天



ぽかぽか嬉しい小春日和、絶好のウォーキング日和となりました。「あじさい寺」としても有名な本土寺はちょうど紅葉が真っ盛り。青空に聳え建つ赤い五重の塔と鮮やかな黄色のイチョウに迎えられ、黄緑から紅色のグラデーションに染まるもみじが木漏れ日に照らされて輝く様はまことに美しく皆うっとりで見入りました。続いて東漸寺はかつて関東十八檀林の一つとされた名刹で浄土宗の学問所だったとあり、きりりとした佇まいに紅葉が映えてこちらもみごとでした。



北小金駅へ戻って電車で松戸駅へ移動し、其々の昼食を取った後は標高25mの高台にある戸定が丘歴史公園へ。江戸幕府最後の将軍徳川慶喜の弟・昭武の明治期の住まいである戸定邸と、遺品等が展示された戸定歴史館を見学しました。広いお屋敷は質素ながらも欄間や釘隠しの装飾に「葵の御紋」が表現され徳川家の誇りと静かな気品が漂っていました。なぜこの松戸に住んだの？とのメンバーの問いにガイドさんが教えて下さったことには、ここは水戸街道の松戸宿があった地で水戸徳川家が



度々往来していたからでは、とのこと。なるほど朝出発した北小金は小金宿のあった場所だし、今日のウォーキングは水戸街道を辿っているのねと理解しました。

歴史公園を後にし、水戸光圀公も崇拝したという松戸神社を参拝して江戸川へ達します。堤防の遊歩道に上ると河川敷を吹き抜ける風が心地よく、一同軽快に進行。葛飾橋からは遠景に二つのピークが目印の筑波山の姿が見られました。なんと清々しい眺め！橋を渡り東京へ入るとまもなく、水際に金町浄水場の取水塔がありました。

一つは三角帽子、もう一つは丸帽子を乗せた赤いレンガ造りの円筒が2つ、ムーミン家のような可愛らしいこれが江戸川の水を汲み上げ都民の水道を支えている…なんて逞ましいこと！矢切の渡しの栈橋から対岸の松戸を仰ぎ「♪つれて～逃げてよ～」とロズさんだのは私だけではなかったはず。葛西神社は遊歩道上から鳥居へ向き礼をし、そして土手を降りて柴又帝釈天へ着きました。正面の立派な枝ぶり「瑞龍の松」は天に昇る龍の姿、お堂は巧みな彫刻で飾られ、訪れる人々を力強くも暖かく受けとめてくれる雰囲気はさすが心のふるさと、寅さんの帝釈天だなと感じ入りました。願いを込めて手を合わせ、参道の賑わいに下町情緒を味わいながら帰路につきました。柴又駅ホームで目にした寅さんの名言からひとつ…「ああ、生まれてきて良かったなってことが何べんかあるじゃない、ね、そのために人間生きてんじゃねえのかな」

今日も素敵な一日をありがとうございました。

● 立川地区ウォーキング—昭和記念公園他

実施日/天候：1月14日（晴れ）

参加者：L 宇津木仁典、塩塚生二、平出正美、羽藤美代子、新井好夫、吉田望、小林ユキ子、長谷川博、梶田義弘、梶田天兵(10名)

コース：JR 立川駅前 10:20 スタートして立川駅前ビル街→国立昭和記念公園一周(昼食)→西立川駅前→立川市古村地区(富士塚→立川歴史民俗博物館→山中坂地藏堂→晋濟寺→諏訪神社)を立寄りして立川駅前 16:20 ゴールして解散した。



ウォーキング仲間Hさんからメール配信があった。万歩計は26,500でした。緑豊かな公園、季節を変えてまた歩きたいです。ただし、私は公園のみで……

このウォーキングを顧みて……ウォーキング仲間 Yさんは、この近くに居住生活して立川駅前ビル街及び昭和公園を熟知していたので、先頭案内役を依頼しところ立川駅北口ビル街の屋上を速足歩行して至ったところは「富士山」の眺望所。快晴のなか雪化粧の富士山と周辺の山々を広く遠くまでよく見渡せた。ヤッター！の発声、山はいいなあー。眼



下直下には、「国立昭和記念公園」が見えた。

昭和記念公園は、『昭和天皇御在位五十年記念事業』の一環として、立川飛行場跡地に開園した国立公園で東京ドームの40倍で広大な面積を有し、周回5km余で園内には汽車型のバクトレインが走行していた。名物のイチョウは散っていたが、陽当りの良いところはまだ所々に紅葉が残り、園内の日本庭園には中央には大きな池があり、池の周辺をめぐるいくとともに刻々と変わる景観を楽しんだ。また「盆栽園」では盆栽展クラスの名品盆栽を鑑賞した。過去のウォーキングでは多々の指定公園を立ち寄り楽しんだが、この公園は異なりとにかく広い。広大な公園を一周して西立川出口から園外へと立川(古村)地区ウォーキングスタートし立寄り地は、富士塚→立川歴史民俗博物館→山中坂地藏堂→晋濟寺→諏訪神社であった。



最初の立ち寄り地「浅間神社『富士塚』」では、商店街イベント開催中で甘酒のふるまいがあった。体感寒風で寒い！美味かった。

次の立ち寄り地「立川歴史民俗博物館」へ向かうコースでは、交差点右左折地点に間違いが生じて歩行し無駄な時間を要してしまった。山(登山)と異なり平地には、交差点が多いので間違いが生じやすい。

仲間の協力支援もあって、コース回復して立ち計画の立寄り地を経由してJR立川駅前に到着(解散)した。

● 薬王院(高尾山)参拝ハイキング

実施日/天候：1月19日（曇り）

参加者：L 宇津木仁典、小林ユキ子、塩塚生二、新井好夫、竹園清孝、岩尾富士夫、小林ユキ子(7名)

コース：高尾山口駅前 10:00 スタート→薬王院→高尾山頂→稲荷コース→ケーブル清滝駅前 15:30 ゴール(解散)した。万歩計は19,000歩を示していた。

新年参拝は、これまでに明治神宮、川崎大師及び成田山その周辺ウォーキングを実施してきた。本年の参拝ウォーキングは何処へ出かけようか？山好きの会員の希望もあって低山ハイキングして神に「安全」祈願する。人々を惹きつける「特別な聖地」高尾山(薬王院)ハイキングに決定した。

この低山ハイキングを顧みて……高尾山コースへは幾度か歩いてきた。今回は未知のコースを歩こうと思考していたところ、酒場詩人の吉田類「にっぽん百低山 山高さが貴からず」放映で琵琶滝から1号線に向かうコースがあった。未知のコースである。地形図をみたところ等高線はせまく急登かな？しかし1号路までは30分で距離は短くついで安全に歩ける。このコースを歩いて1号線(男坂)薬王院へ参拝ハイキングを計画した。



琵琶滝(2号路)→1号路(男坂→薬王院→奥の院)→高尾山頂→稲荷コース→ケーブル清滝駅前までハイキングしたが、参加者からは正月休み体は「静」生活が続いたことが影響したのか？予想をはるかに越えてきつく疲れが、有酸素力運動をして充実して楽しかった。残念なことは、山頂から富士山は曇天で展望できなかったこと、更には薬王院近くの富高尾山(富士浅間)に立ち寄り(参拝)せずに通過してしまったことである。また満足は、本年は7巡目の年男になったので「6月までのウォーキング計画実施を以てリーダーを卒業したい。クラブ会員の皆様の御協力に感謝……」申し上げましたところ「お疲れさま……ありがとう！」には感動した。



**支部山行の予定**

- **山行の心得** - リーダーは、ガイドや添乗員ではありません。  
「連れて行ってもらう」ではなく、自主的な意識を持ち参加してください。

リーダーが参加者にそれぞれ役割を振り分けますので、積極的に引き受けてください。参加する前に、山域、コース、交通機関などは地図やガイドブック、ネットなどで十分下調べして下さい。地図・コンパス・筆記用具は、どんな山行でも必ず持って来て下さい。また、山行に見合った登山保険には必ず入って来て下さい。遭難救助付きの保険加入は任意ではなく、すべての登山者の義務です。体調不良者が出れば事故と同じで、山行は中止になり引き返すことになります。日頃の自主トレーニングも是非行なうようにして下さい。

リーダーの連絡先	
宇津木 仁典	印刷版を参照
松田 宏也	
三木 雄三	
三田 博	
三田 芳江	
平野 直子	
小川 和敏	
三品 京子	
今井 貴朗	
宮崎 美智代	
東 蒼生	
小栗山 大介	
成田 知彦	
香高真奈美	

《難度》

- W ウォーキング
- A 整備され歩行2～3時間
- B 歩行5時間前後
- C 歩行7時間前後、一部岩あり体力要
- D 強い体力、岩技術要
- E 高い適応能力要、危険度大

(難度はJAC 日本300名山を参考。岩・沢及び積雪期は難度アップとする。)



**個人山行も計画書提出を** 送信先 ; cib@jac.or.jp

- **山行の申込み**  
申し込みは、原則として電子メールで行ってください。その際には下記事項の記入をお願いします。  
また山岳保険には必ず加入して来て下さい。

①氏名②生年月日・年齢③住所、自宅電話番号、携帯電話番号④緊急連絡先氏名(続柄)、緊急連絡先電話番号  
 ※年齢は山行日の年齢です。計画書と違うと保険が効かない可能性もあります。  
 山行は定員を設けています。また、技術・体力不足、初参加で力量不明の場合はお断りすることもあります。  
各山行形態に見合った山岳保険に加入していない場合は、当該山行には参加できません。

山行カレンダー (4月～9月)

日程	山名	難度	備考	リーダー	締切
4月12日(土)	天目山(三ツドッケ)	B	奥多摩駅からバス利用	東	4月5日(土)
4月16日(水)	上野原 坪山	B	電車とバスでヒカゲツツジを見る	三田	4月10日(木)
4月19日(土)	栄町	W	「房総の村」周辺を歩く	宇津木	4月12日(土)
4月25日(金)	茨城県	B	山菜山行	平野	4月13日(日)
4月26日(土)	栃木・雨巻山	B	益子町の最高峰 他に3つのピーク	小川	4月15日(火)
4月26日(土)	足利大小山	B	自然学 大小山「チャートの山」	三木	4月19日(土)
5月3日(土)	三浦富士～武山	A	三浦半島の新緑と武山つつじ祭り	松田	4月17日(日)
5月6日(火)	奥多摩・シダクラ沢	C	奥多摩で初級の沢登り	三田	4月30日(水)
5月10日(土)	支部定期総会				

日本山岳会千葉支部

日程	山名	難度	備考	リーダー	締切
5月15日(木)～16日	南会津	B	山菜山行	平野	4月13日(日)
5月24日(土)～25日	両神山	C	日向大谷からのコース	今井	4月19日(土)
5月24日(土)	都内(三鷹市・調布市)	W	深大寺と調布の豊かな自然コース	宇津木	5月17日(土)
5月30日(金)～31日	上信越・白砂山	C	野反湖でバンガロー泊	三田	4月30日(水)
6月3日(火)	大菩薩嶺	B	甲斐大和駅からバス利用	東	5月27日(火)
6月6日(金)～10日	伯耆大山(鳥取県)	B	山開き前夜祭、たいまつ行列に参加(定員6名)	三品	締め切り
6月7日(土)～8日	房総Base草刈り①		今シーズン最初の草刈りと宴会	松田	6月1日(日)
6月15日(日)～16日	群馬・黒斑山	B	前泊 浅間山第一外輪山の最高峰	小川	5月10日(土)
6月27日(金)～28日	裏磐梯 雄国沼	B	民宿泊 キスゲの季節に	三田	4月20日(日)
6月28日(土)	神奈川県藤沢市地区	W	文化財江ノ島岩屋コース}を巡る	宇津木	6月21日(土)
6月28日(土)～29日	八ヶ岳・赤岳	C	赤岳鉱泉に泊まり八ヶ岳最高峰へ	今井	5月31日(土)
7月5日(土)～6日	奥鬼怒・湯沢噴泉塔	C	秘境でウォーターウォーキング	三田	6月21日(土)
7月11日(金)～12日	富士山	C	予定：富士吉田ルートからのバスツアー(4月以降日付確定)	成田	4月13日(日)
7月27日(金)～28日	苗場山	C	秋山郷の民宿泊で小赤沢コース往復	三田	6月1日(日)
8月2日(土)～3日	房総Base草刈り②		猛暑の草刈りの後はBeer Party	松田	7月27日(日)
8月24日(日)～26日	北アルプス・立山	C	雷鳥沢テント泊	三田	8月1日(金)
9月5日(金)～7日	火打・妙高	C	山小屋2泊	今井	7月25日(金)
9月12日(金)～13日	金時山	B	前泊 金時神社から乙女峠を経て	小川	8月1日(金)
9月20日(土)～22日 (予備日23日)	北アルプス伊藤新道	C	湯俣から沢を辿って三俣蓮華岳までの秘境に行く道	平野	8月17日(日)
9月27日(土)	古賀志山(栃木県)	B	日本百低山 森林公園から山頂へ	三品	9月5日(金)

※ W ; ウォーキングクラブの予定が変更になった場合はメンバーに事前連絡します  
メンバー登録はリーダー宇津木さんにメールしてください

※ 薄グリーン着色山行は、日程などの変更があった山行、あるいは新規に提案された山行を示す

お知らせ

《事務局から》



● 房総復興プロジェクトについて

昨年に引き続き房総の山の登山道調査・整備を行いますのでご協力をお願い致します。日程については随時メールにてお知らせいたします。

● 支部年会費の納入について

令和7年度年会費の振込みをお願い致します。支部の運営にとって大切な原資です。未納者には、支部だよりの配布、並びにメール他での連絡を停止します。

以下がゆうちょ銀行の送金口座です。

記号番号で送金の場合：00270-8-105649

店名で送金の場合：ゆうちょ銀行 029店 105649

加入者名 日本山岳会千葉支部



●2025 年度支部総会のお知らせ

2025 年度の通常総会を下記により開催いたします。この総会において 2024 年度事業及び決算報告、2025 年度事業及び収支予算計画など審議する予定です。

日時； 2025 年 5 月 10 日（火）午前 9:10～

場所； 千葉市生涯学習センター 大研修室  
〒260-0045 千葉市中央区弁天 3 丁目 7 番 7 号

総会； 9:20～10:20

記念講演； 「アマダブラム遠征報告会」 10:30～11:40  
平野直子さん、三田博支部長



●役員会報告

○12 月報告 12 月 17 日（火）支部忘年会のため休会

○1 月報告 1 月 21 日（火）リモート（三田、三品、小川、甘楽、斉藤和、山口、平野、三田芳、松田、宇津木、渡部、平出、東）

◇山行・行事報告 11/21 南会津・きのこ山行、11/23～11/24 四支部合同懇談会、11/30 松戸地区 W、12/1 御殿山、12/8 晩餐会山行・鋸山、12/14 立川市・小金井市 W、12/21～12/22 房総 Base 忘年会、1/4 郡界尾根から鋸山、1/11 奥多摩・浅間嶺、1/17 愛宕山、1/18 鐘ヶ窪アイスクライミング、1/19 日蓮アルプス、都内・高尾山 W、年次晩餐会・晩餐会山行、市川公民館読図講習

◇山行・行事予定 富山西尾根、岩殿山、日光スノーシュー、鍋割山、雪洞作り体験&宴会山行など

◇報告・検討事項 4 支部合同懇談会報告、房総の山復興 PJ（首都圏自然歩道の整備）、令和 7 年度活動計画と予算、会費値上げ検討について、令和 7 年度役員について、令和 7 年度支部総会日程について

○2 月報告 2 月 18 日（火）リモート（三田、三品、甘楽、小川、平野、松田、三田芳、今井、山口、宇津木、平出、成田）

◇山行・行事報告 1/26 岩殿山、1/28 伊予ヶ岳登山道整備、2/1 日光スノーシュー、2/8 晴香園 鋸山、2/15 鍋割山 丹沢

◇山行・行事予定 六ツ石山、大房岬・洲崎、房総 Base 花見の会、石老山、伊豆大島 三原山など

◇報告・検討事項 房総の山復興 PJ（首都圏自然歩道の整備）、4 月号支部だより、会友の期限ついて

●会員・会友の動向

《入会》

【会員】 杉原さん  
灘さん  
阿部さん  
榛葉さん

【会友】 和仁さん



《退会》

【会友】 中場さん 森川さん 長谷川さん 丸さん 今井さん



編集後記：ここ数年訪れようと思いつながら果たせていなかった「東北の冬まつり」にようやく行かれました。毎年決まった日に開催される秋田県の「上桧木内の紙風船上げ」「大曲伊豆山神社の川を渡る梵天」「角館の火振り」です。2 月 10 日の紙風船はガスバーナーで膨らませたかなり大きな紙風船が空に舞います。11 日の奉納する梵天は町を練り歩いた後に川を船で渡ります。14 日の火振りは市内数ヶ所で火のついた炭俵を振り回します。寒波が来ていて寒い日の連続でしたが、まつりに参加する地元の方たちは熱気にあふれていました。どこの祭りを訪問しても、「祭りは地元の方たちのものだな」と感じ入ります。

津田沼のヨシキスポーツさんには SAC 教室会場の提供ほか、千葉支部として大変お世話になっています。山用品を購入するときは是非ご利用して頂きたいと思います。会員になると割引があります。（小川和敏）